彙報

◉史學研究會

例會 一月廿三日午後一時より京都帝國大學樂友會館に於て開催、左の講演あり、來會者百餘名。

南洋諸島の土俗學的調査　文學士　宇野圓空君

昨年七月より十二月中旬に亘り南洋特に英領蘭領日本委任統治領諸島を視察した旅行の經路及び其間に訪問したDusun人Muruut人等の諸種族の生活狀態に就て述べ、併せて其採集に係るボルネオ、タイヤ人呪拂人形、ジャワ文貝葉佛教經典等の諸品を展覽に供せられた。

鮮華旅行談　工學博士　天沼俊一君

昨秋、朝鮮支那に出張して種々の遺物遺跡の調査中專攻の立場に基く古代建築の概略を述べんとて、慶州、扶餘、京城から平壤に入り次で滿州より奉天に及ぶ間、親しく撮影された多くの寫眞と共に其の主要なる建築について、手法、樣式等を本邦のそれ或は回教建築のそれに比較し類似發達を說き、朝鮮建築の最も手法の優れたるを力說し、支那日本がこれに次ぐものとされ、最後に無識見の模倣建築が其の國民性と背馳してゐることを以て結ばれた。

◉讀史會

例會 一月二十九日午後六時、樂友會館第一號室に最近在外研究を了へて歸朝せられたる牧法學部助教授並に折柄入洛中の岩橋史料編纂官を迎へて開會、三浦、西田兩教授、中村講師以下十四名參集、左記講演の後一同歡談を交へ午後十一時散會す。

復興期に於ける本願寺　岡本隆男名

寛正六年大谷本願寺の法難より祖廟と影像動座のことを說き本願寺中心に寺院門前町の發達したることを述べ覺如蓮如の事業を語り、ついで本願寺教團の經濟史料の缺如せることゝ、又本願寺の世俗權擴張等のことに就いて說述する所ありたり。

筑後柳河の幸若舞を見て　岩橋小彌太君

昨年十一月舊柳河藩領内に傳はりし幸若舞が上京し

てその枝を演じ識者の鑑賞に供したることより說き起し幸若舞が德川幕府の壓迫によつて滅亡したることを語りその越前に於ける家元は旗本に取立てられ輪番に江戸に上つてその枝を演じたることあれどそれも今日全く傳はらずして柳河領内のもののみ傳はれることを述べ更に遡つて幸若舞の起源よりその歷史を概說し唱門師曲舞謠曲等との關係を語り幸若家に傳へし幸若丸の傳說を說き更に先頃東京にて演じたる幸若舞の實際を叙述批判せられたり。

在外所感　　文學士　法學士　牧　健　二君

外人はいかに日本人を觀察してゐるかの一例としてオックスフォードにて觀たる「ミカド」劇のことより說始め日本人の體格の事に及び、其外人より尊敬せられ居らざることを縷述し轉じて日本史に關する外人の理解の殆ど見るべきなきをいひ今後は國史專攻者も大に外國語を修めて日本の眞相を海外に宣傳するの要ある等種々の感想談を試みられり。

例會　二月二十日午後六時半より最近在外研究を了へて歸朝せられたる農學部助敎授黑正巖氏を迎へて開會、出

席者西田敎授中村講師以下十五名、左記講演あり十一時前散會す。

士　族　　伊　藤　八　良君

維新の大業は武士の力與つて力あり明治以後各方面の活動に於て士族はその中樞人物となれり。然るにこの武士階級の階級としてかくも早くその社會上より消滅したるは何によるかとてその理由に關する所見を主として經濟的因由に就いて縷述し更に明治政府の士族處分策に就いて說明す。

藩札に就いて　　黑　正　巖君

在外研究中獨逸に於て馬克紙幣暴落の實際に遭遇し具に當時獨逸人の窮境を目擊して異常の衝動を受けたることより歸來わが德幕時代諸藩に於て發行したる藩札の始末が頗る獨逸紙幣と等しき運命を擔ひしことを思ひ非常に興味を覺えしが我國に於てこの藩札の顚末に關する研究の不充分にして未だその實際の狀況を闡明するにいたらずといひ最近岡山藩に於ける藩札發行事情に就いてその根本史料を手に入れたることより同藩に於ける藩札發行より最後に明治政府に引つがるるにいたるまでの沿

草に就いて語り時々獨逸に於ける恐慌狀態と對比して甚興味多き說述ありたり。

右終て牧野滋賀縣史編纂主任は滋賀舊都の遺蹟研究に就いて崇福寺、梵釋寺の遺址考定に關する興味深き談話ありそれに對する會員の談論に會場を賑はせり。

支那學會

送別豫餞會 二月六日午後一時より京都帝國大學學生集會場にて今般海外へ留學せらるゝ小島助教授の送別に來三月卒業すべき學生の豫餞會を兼ねて開催せり來會者諸教授卒業生學生等約四十名左の講演あり。

一宮內省圖書寮所藏の史集類につきて　文學士　神田喜一郎君

先づ地志の書が史類の約三分の一を占むることより宋槧本太平寰宇記同方輿勝覽明版の地誌、曹學佺の蜀中方物記、混一歷代國郡疆理圖、宋槧前後漢書、萬曆二十三年正月二十一日下秀吉勅、同十八年三月朝鮮國王書、康熙帝賜中山王尙貞勅書、東坡書の宸奎閣碑拓本、南宋高宗書の佛頂光明塔碑拓本、范石湖書の育王山絕句拓本の詳細を述ぶ。

一、殷文比法の前驅　文學博士　鈴木虎雄君

古くは單對、次で四六の隔對長偶對の起りし經緯より明の黃子澄の洪武十八年作の文に殷文の形式既に現はれたることを論じ殷文の先驅は南宋の朱熹の頃より存することを證明し朱子の中庸或問等の文に適例を求め、最後に殷文の淵源をば散文的の四六文に在りと斷ぜらる。

右終りて記念撮影あり、此間新城博士より東洋文庫論叢第五として公刊せられたる飯島忠夫氏の支那古代史論の曆法に關する研究につき意見の相違ある點を明快に說明せられ終つて席を樂友會館に迻して晩餐を共にし午後八時過散會せり。

●西洋史讀書會

例會 昨年十二月十七日定刻樂友會館にて開催、坂口教授、時野谷助教授、中原學士、學生十數名出席、左の二君の發表あり。

アングロサクソンの國家組織　大石潔君

アングロサクソンはブリタニアに侵入して七王國を建

てしが後 Wessex これ等を統一して England を一定せり。ついでデーン人の侵入あり、二者の爭鬪は英國史を形成するに至れり、アングロサクソンの社界は奴隷、自由民、貴族の三階級より成り、各人民は Township 又は Tun を組織し、これに集會あり、又 Parish, Tishing, Burh, Hundred にも民會あり、末期に至りて shire 生ずこれ等相集りて王國をなし、議會としては、wisemeeting あり、全體としては制限せられし專制王國にしてその下に議會らしきもの存し以て國家組織をなす云々。

Idea of Progress　　上里朝秀君

J.B. Bury 教授の Idea of Progress の序論の紹介にしてギリシヤ、ローマ時代には進步の觀念なく中世に至りても初期にはなかりしが Roger Bacon によりて胚胎しルネツサンス時代に基礎なり、十六世紀に及んで大いに進み、J. Bodin, Francis Bacon はその代表者なり。

例會　二月四日樂友會館にて近く外遊せらるゝ時野谷助教授の送別を兼ねて開催、坂口教授時野谷助教授菅原中原大村學士學生十數名來會歡談裡に會食し、終つて別室にて左の發表あり。

スフィズム　　大館宗憲君

スフィズム卽ち回教の神祕主義はイスラムの一派にしてその名稱は suf(woolen dad) より生じ、質素を旨とし神に仕へ、イスラムの正義と異りて神の愛を說き、禁慾主義隱遁主義なりき。ヘジラ後三世紀に至り新しきスフィズム生ず。イスラム以外の要素卽ちネオプラトニズム、佛教基督教グノスチシズム等の加味されし新スフィズムは以前の禁慾隱遁的より神祕的冥想三昧的、接神的となり、遂に極端なる汎神的傾向のものとなれり。スフィズムは永くイスラムに於て異端視せられしが al-Ghazari の時に至りてイスラムの正教として認めらるゝに至れり云々。

會報

◉寄贈交換圖書

支那古代史論（飯島忠夫著）　東洋文庫
人類學研究（小金井良精著）　大岡山書店
商業と經濟　長崎高等商業學校研究會
經濟論叢　二一の六、二二の一、二
京都帝國大學經濟學會
史學　四の四　三田史學會
國學院雜誌　三二の一、二　國學院大學
史學雜誌　三六の一一、一二、三七の一　史學會
人類學雜誌　四一の一、二　東京人類學會
考古學雜誌　一六の二　考古學會
歷史地理　四七の二　日本學術普及會
國民史談　一の一、二、二の一、二　國民民談會
龍谷大學論叢　二六六　龍谷大學論叢社
觀想　二三、二四　東洋大學
南滿北支朝鮮旅行紀念繪葉書　中村久四郎
名古屋溫古會報告　第九　名古屋溫古會
國史教授資料　第二輯　名古屋溫古會
T'oung pao (通報) Vol. XXIV, No. 1.　Paul pelliot

◉會員動靜

■入會

神戸市葺合町二一〇二　竹田龍太郎氏
京都市上京區西洞院通三條北　冲野安次郎氏
（右紹介者、三浦周行氏）
東京市本郷區駒込千駄木町一三　太田熊太郎氏
（右紹介者、森谷秀亮氏）
東京市外高田町雜司谷三五三、千葉方　木代修一氏
（右紹介者、內田寬一氏）
東京市小石川區小日向臺町三の八一　永田太二郎氏
（右紹介者、中村榮孝氏）
東京市牛込區藥王寺町七四、小泉方　江木謙藏氏
（右紹介者、今石二三雄氏）
東京市、內務省神社局考證課　谷川磐雄氏

（右紹介者、三上左明氏）

長崎市下筑後町一九　佐藤眞穗氏

（右紹介者、西田直二郎氏）

東京市外世田ヶ谷町若林九四　白井長助氏

（右紹介者、津田左右吉氏）

仙臺市客堀町一七　中瀨武氏

京都帝國大學文學部史學科　河野義宣氏

同　肥後和男氏

同　三品彰英氏

東京市牛込區矢來町三　田村壯次郎氏

（右紹介者、島田貞彦氏）

■退　會

白石正邦氏

■逝　去

箭内亘氏

謹みて哀悼の意を表す。